

# 学校だより 浅海



2021  
10

松山市立浅海小学校  
2021. 10. 15

## 「多様性」の捉え方

校長 秋山 徹也

朝晩すっかり涼しくなり、日中は若干暑さが残るものの気持ちのよい秋空が広がるようになりました。正門前のコスモスも一斉に花を咲かせ、子どもたちの登下校を見守っています。2学期が始まって1か月が過ぎましたが、この間子どもたちは、造形大会や運動会練習などに一生懸命取り組みました。来週の秋季大運動会では、これまでの練習の成果を発揮し、力いっぱいがんばってくれるものと思います。ご期待の上、ご来校ください。



さて、今年の夏は「TOKYO2020」で大きな盛り上がりを見せました。各選手の活躍はもちろんでしたが、改めて「多様性」について考えさせられた大会でもありました。LGBTQ+や障がいなどの「多様性」を温かく認め、ともに歩んでいくことは、本当に大切なことであり、尊いことです。

ただ、一方で、その「多様性」を単なる「言い訳」や「わがまま」と曲解していることはないでしょうか。丸ごと受けとめ受け入れるべきヒト・モノ・コトがあることはもちろんですが、「現状」を打破するべく努力すること・させることも必要ではないでしょうか。例えば、学習等に後ろ向きな子どもや生活習慣等が身に付いていない子どもに、「この子がこれでいいのなら、このままでいいか。」という姿勢で当たるのではなく、その意義や必要性について、大人の経験則に基づいて教え導かなければならないのではないかと、思うのです。

本校では、子どもの可能性を少しでも広げ高めるように努めています。成長するときには、痛みを伴うこともあります。しかし、その痛みの先に広がる可能性への期待感を示すことで子どもたちのモチベーションを喚起・継続させ、それらを繰り返すことにより子どもたちは、心身ともにどんどん成長していくものと思います。放っておいても子どもは成長するものですが、私たち大人がかかわることでその成長の度合いが少しでも上向きになるはず、と信じ肝に銘じて日々指導に当たっています。

# 校内造形大会 (9月10日)



校内造形大会では、各学年が設定したテーマに沿って創作活動を行いました。

- 1年生「ふしぎな生き物」(立体)  
身近な材料を利用して、不思議な生き物を想像して作りました。
- 2年生「ともだちハウス」(立体)  
身近な材料を利用して友達が喜びそうな家を作りました。
- 3・4年生「ふしぎワールド」(立体)  
液体粘土を使って、不思議な世界を表現しました。
- 5・6年生「葛城神社」(平面)  
近くの神社へ出向いて写生し、木造の建物の荘厳さを表現しました。

## 避難訓練・防災教室

10月5日(火)に、避難訓練と防災教室を行いました。

避難訓練では、地震と津波を想定し、運動場へ避難した後、校舎3階へ再避難しました。訓練ではどの子どもも真剣に取り組み、無言で素早く避難できました。

防災教室には、中央消防署北条支署の署員の方や女性消防団の方にも来ていただきました。下学年では、防災についての話やクイズを通して防災に関する知識や身を守るための方法について学習しました。上学年は、救命救急について教わり、実際に心臓マッサージを試みるなど、命を救う方法について学びました。

